



令和6年2月26日（月）発行

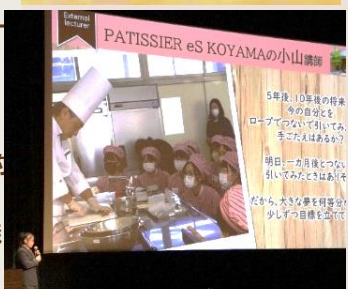
生活情報科通信 08



課題研究「服飾デザイン」では、最終作品として一人1点のオリジナル衣裳の製作に取り組みました。12月には家庭科技術検定洋服1級（ジャケット）やバリ研修もあり、最後の追い込みは大変だったと思います。ぎりぎりまでこだわり、それぞれ精一杯個性を表現した素晴らしい作品でした。
グランプリ：上山さん
優秀作品：・高瀬さん・内橋さん・栗原さん・平松さん・坂口さん



課題研究「食物」では、アレルギーの研究や梅吉亭・食肉コンテスト
全国大会出場の報告
課題研究「福祉」の発表では
手話通訳に挑戦しました。主体的に地域の手話サークルに参加し、協力して頂きました。卒業生の森本さんも指導に来て頂きました。



<2年生の感想>

・先輩方の最後の衣装はさすがとしか言いようがありません。発想やコンセプトに込める思いとか、考え方が今の私たちよりもっともっと上だと思いました。その衣装の技術とかバランスとか、自分が3年生になった時、先輩たちみたいに、見た人を驚かせるものをつくることができるかという不安があります。衣装だけじゃなくて、福祉の手話や韓国語、食物の発表などどの場面でも、堂々とされていてカッコよかったです。あそこまで胸をはって人前に立つためには、日々の生活の取り組みだと思いました。先輩たちっていつも明るくて元気で超たのしそう!!ってイメージがあるけど、誰もが乱れたことをしていないからクラスの雰囲気がいいのかなと、色々考えさせられました。舞台から帰ってきながら涙してたり、挨拶中に泣いてしまったり、思い入れが深いからこそだと思うし、そんな先輩の姿を見て私もジワーっときました。憧れの先輩に感謝しかありません。自分も胸はって舞台に立てるように何事にも全力で楽しみながら、クラスみんなで成長していきたいです。

・3年生最後の舞台だったし、より多くの瞬間を記録しようと思いながら行動しました。舞台裏に入ってメッセージや写真を録ったり、分からないことは先生に聞いたり自分なりに考えて行動にうつすことができました。そして良い瞬間をカメラにおさめることができました。手話の動きを画面に映し出す役割を任された時に、今まで名指しで頼られたことがなく、初めて言われたから嬉しかったけど「こんなこと私に任せて大丈夫なん?」とも思いました。けど任されたからにはしっかりやろうと思いました。スライドの発表やファッションショーに関わっている人からしたら小さな仕事、簡単なことって思われていたかもしれないけど、私は内容じゃなくて質や行動が重要だと思いながら一生懸命行動しました。この成果発表会で思い残すことが沢山あったから、これからファッションショーの裏方として沢山参加して皆から色々頼ってもらえるようになれたらいいし、先生からも良い意味での、「〇〇!!」の声が増えるように頑張っていこうと思います。

・今年は、3年生のファッションショーに、出演者として参加させていただきました。去年は遠くから見ていただけ先輩方の動画や衣装、見せ方が美しくて憧れとして見ていましたが、想像以上に舞台裏はバタバタしていて、複雑に作られた服ではパーツがからまってしまったり、ファスナーが上がらなかったりとハプニングがたくさんあり、ぎりぎりで舞台に出たりと冷や冷やする場面もありました。それでも、舞台に上がると切り替えて堂々と歩く姿に感動しました。今回は特にヘアメイクやメイクにこだわり、ウォーキングだけではなく、細かい所にまでシーンそれぞれの色が見えておもしろかったです。2年生の4ブラ発表では、みんなの意見を一つにまとめるのに苦労しました。年代も和洋もバラバラで、優柔不断。それでも個性が強いメンバーでなかなか決まらないこともありましたが、みんなが納得する形として作りあげることができました。メンバー全員でどのような個性を出しながら1つのシーンを作っていくのか、これからがとても楽しみです。約1年後には3年生の最後のファッションショーとして、舞台に立つ姿が全く想像できませんが、39人みんなで一つの目標に向かって被服製作や検定、進路に向けても、頑張っていきたいと思いました。

<1年生の感想>

・成果発表会をみて、特にファッションショーに感動しました。服の見せ方も上手だし、デザインも個性があってその人にしかだせなり魅力が詰まっていた何回もみたくまりました。普通科の友達が、ヒールでおどったり、この服好きとかかわいいと言っていて、私が作ったわけではないけどうれしくなりました。私達の先輩すごいでしょと自慢してしまうほど、本当に良いステージでした。私が3年生になった時も、こんなふうに後輩に自慢される先輩になりたいと思いました。そして、最後のあいさつで、「このクラスで良かった」や「しんどくてもクラスのみんなに支えられた」と言って涙を流されていたのを見て、私も「2年後このクラスで良かったと思えるように、クラスの雰囲気や、団結力をもっと良くしてみんなで卒業したいし、泣いて笑って何でも言いあえるクラス作りをしていきたいと思いました。そのために、自分からあいさつしたり話かけたりして仲を深めていきたいと思いました。ファッションショー以外にも手話や梅吉亭の発表があって、年間の努力が伝わってきました。手話を覚えたのが1週間前くらいだと聞いてびっくりしました。1週間で覚えるのはとてもたいへんだと思うけど、完成させた、3年生は本当にすごいなと思いました。得意なことも、苦手なことも努力したぶん自分の強みになるので、私も努力を惜みず、何事にも挑戦し続けられる人になりたいと思いました。色々なことに興味を持ちこれからも、頑張りたいと思いました。

・成果発表会を見て、一番にすごいなという気持ちと、あんな先輩になれるのかという不安がみなぎってきました。自分が印象に残っているのは手話です。今まで自分は「食」か「看護」に興味をもっていたけど、「福祉」にあまり興味をもちませんでした。でも身近な先輩が手話をしている姿を見て、自分もできるようになりたいと強く感じました。家に帰って「手話」のことを調べました。身近な仕事から、大変な資格をとらないといけない仕事もありました。自分はまだ将来の夢を決めきれていないけど、福祉も視野に入れたいなと思いました。ファッションショーでは、学校に入学する前と入学した後では感じ方が違うと思いました。入学前は、素直にカッコイイとか、服がカワイイとか思っていたけれど、入学してからは、先輩が放課後ウォーキング練習したり、忙しい中服を完成させたりと、頑張っている姿を見る機会が増えました。それを思っ先輩のファッションショーを見ると、尊敬の気持ちと準備が一番大切だということに気づかされました。先輩の最後の涙を見るとすごく感動したのと同時に、2年後自分もあのようになりたいと思いました。今回の成果発表会は、1年生のしたことは少なかったけれど、色々な事を学べた一日でした。提示の飾りつけでも、優しく先輩が指示を出してくださいました。とてもうれしかったです。自分もあのような先輩になりたいと思いました。成果発表会は団決力が必要だと思いました。今のクラスは団決力がめっちゃあるわけではないので、これからの活動を通して団決力を高めていきたいと思いました。

